令和４年度

富山市立図書館協議会

資料

日時：令和４年１１月２２日(火)　午後２時～

場所：富山市立図書館本館３階 セミナールーム

富 山 市 立 図 書 館

第1　決算・予算及び主な事業について

1.　令和3年度決算・令和4年度予算の状況

（1）　令和3年度決算報告

（単位：千円）

事業名	予算現額 (A)	決算額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	不用額 (A-B-C)	備考
①管理運営事務費	647,312	637,930	2,407	6,975	・本館、分館窓口業務委託 ・施設管理費等 ※繰越　本館エスカレーター部品交換業務委託料
②蔵書充実事業費	86,841	86,822		19	・図書購入費 ・新聞・雑誌・逐次刊行図書等
内、図書購入費	73,000	73,000		0	
③読書普及事業費	629	601		28	・障害者サービス事業費消耗品 ・録音図書DAISY機器借上料等
④図書館ネットワーク事業費	39,774	39,748		26	・図書データ購入費 ・システム機器借上料等
⑤音と映像資料充実事業費	440	432		8	・CD・DVD購入費等
⑥知を深める市民交流推進事業費	6,000	6,000		0	・図書館交流行事等
合　計	780,996	771,533	2,407	7,056	

（参考）人口同規模中核市の図書購入費の比較

（令和3年3月31日現在。図書費は令和3年度予算）

都市名	人口 （千人）	図書購入費 （千円）	施設数 （館数）	市民1人当たりの図書購入費（円）
富山市	416	73,000	25	175.48
岐阜市	409	60,170	7	147.11
長崎市	416	55,500	2	113.41
柏市	425	50,994	18	119.99
豊田市	425	32,643	2	76.81
金沢市	452	94,132	6	208.26
全中核市平均	369	44,397	5	120.40

参考：『日本の図書館2021』（日本図書館協会）

（２） 令和4年度予算について

（単位：千円）

事業名	令和4年度 当初予算額 (A)	令和3年度 当初予算額 (B)	増減額 (A-B)	備考
①管理運営事務費	651,249	634,573	16,676	・本館、分館窓口業務委託 ・人件費、職員報酬 ・施設設備維持館管理費等
②蔵書充実事業費	86,497	86,959	△ 462	・図書購入費 ・新聞・雑誌・逐次刊行図書等
内、図書購入費	73,000	73,000	0	
③読書普及事業費	1,777	597	1,180	・（新規）読書バリアフリー環境整備事業 ・障害者サービス事業費消耗品 ・録音図書DAISY機器借上料等
④図書館ネットワーク事業費	39,089	39,133	△ 44	・図書データ購入費 ・システム機器借上料等
⑤音と映像資料充実事業費	430	440	△ 10	・CD・DVD購入費等
⑥図書館施設整備事業費	8,820	0	8,820	・大沢野および大山図書館の移転
内、図書購入費	4,800	0	4,800	
⑦知を深める市民交流推進事業費	5,000	6,000	△ 1,000	・図書館交流行事等
合　計	792,862	767,702	25,160	

２．図書館交流行事

図書館本館では、新本館の開館時（平成 27 年 8 月）より、学習や暮らしに役立つ情報提供、市民の読書普及および図書館の利用促進を図るとともに、併せてまちなかの賑わい創出の目的で「図書館交流行事」を開催しています。

・運営主体　　富山市立図書館交流行事運営委員会（構成：学識経験者、まちづくり関連団体等）
・開催場所　　図書館本館及び周辺
・開催実績

令和 4 年度　開催回数：81 回、開催参加者数：9,661 人（9 月末現在）

【参考】令和 3 年度　開催回数：100 回、開催参加者数：15,460 人

・令和 4 年度開催実績（抜粋）

（１）セミナー等

目的：市民の様々な活動（学び、暮らし、ビジネス、まちづくり等）に役立つ情報について、講師を通じてわかりやすく提供する。

行事（例）	開催日	開催場所	人数
セミナー＆まちあるき「古い住宅地図でめぐる富山の中心商店街」	6 月 26 日	3F セミナールーム ほか	23
グラフィックレコーディング体験セミナー	7 月 1 日	3F セミナールーム	22
セミナー「鎌倉御家人と承久の乱」	9 月 25 日	2F ロビー	92

（２）イベント等

目的：図書館の理解を深めたり、或いは文学、文化・芸術などの魅力に触れたりすることができる行事を開催し、図書館利用のきっかけとするとともに、来街者の増に貢献していく。

行事（例）	開催日	開催場所	人数
木村敬一さん講演会「闇を泳ぐ」	5 月 22 日	2F ロビー	65
黒瀬珂瀾さん講演会「現代短歌の楽しみ」	7 月 31 日	2F ロビー	77

【木村敬一さん講演会「闇を泳ぐ」】

木村敬一氏（東京パラリンピック金メダリスト、『闇を泳ぐ』の著者）を招聘し、東京 2020 大会で金メダルをとるまでの生き方やトレーニング、コロナ禍で感じたことなどについての講演会を開催した。参加者からは、「どのようにパソコン等を操作しているのか」「目で動作を確認できないのに、どのようにして水泳の動きを習得したのか」など、熱心な質問が出て、障がいへの理解が深まった。

（３）児童行事

目的：幼児・児童の心豊かな成長を促すとともに、図書館を利用してもらうきっかけとする。

行事（例）	開催日	開催場所	人数
図書館ビンゴラリー	4 月 23 日～ 5 月 31 日	全館	のべ 4,223 人（ビンゴ達成者 330 人）
親子でボードゲーム!!	7 月 24 日	3F セミナールーム	20
理科読イベント　新聞紙ドーム「空気はちからもち」	8 月 7 日	2F ロビー	32

【図書館ビンゴラリー】

こども読書週間（4 月 23 日～5 月 12 日）を機に、児童の読書推進と図書館利用促進を図るために企画したイベント。富山市立図書館 25 館の中から 5 館を回りビンゴを達成した子どもには、オリジナルノートをプレゼントした。また、表には地域の特徴をイラストにし、裏にはおすすめの本を記載した館ごとに異なる種類のカードも配布し、楽しみながらカードを集める参加者も多かった。

（４）　本の企画展示

目的：テーマ別に図書館の本の魅力をわかりやすく紹介し、利用増を図る。

項目	展示(例)	開催日	開催場所
一般	**世界の子どもの本展　／　世界のバリアフリー児童図書展** 国際児童図書評議会（IBBY）の日本支部である日本国際児童図書評議会（JBBY）の巡回展。併せて関連企画として、「日本の歴代オナーリスト」の展示や、ワークショップ「オリジナル“国旗”をつくろう！」を開催した。	5 月 24 日～ 6 月 5 日	ガラス美術館 5F ギャラリー
	大人だって！自由研究 夏休みシーズンに、大人が楽しめる実験や工作、少し変わった研究など、「自由研究」を味わえる本を展示。	6 月 10 日～ 7 月 6 日	4F 一般 図書フロア
	本で旅するフィンランド ガラス美術館で開催中の展覧会「フィンランド・グラスアート『輝きと彩りのモダンデザイン』」、「ムーミンの食卓とコンヴィヴィアル展―食べること、共に生きること」に合わせ、フィンランドの文化を紹介する本や、フィンランド作家の本を展示。	11 月 3 日～ 12 月 6 日	同上
児童	**夏休みにしたい 10 のこと** ゲーム感覚で楽しみながら、普段手に取らない図書との出会いを演出するために「夏休みにしたいこと」をテーマに「おもいっきりよふかしする」「海や山へいく」など、図書を 10 のジャンルに分けて展示。併せて、夏休みにしたいことやできたことを記載するコーナーも設けた。	7 月 7 日～ 8 月 31 日	3F 児童 図書フロア

【世界の子どもの本展・世界のバリアフリー児童図書展】

【夏休みにしたい 10 のこと】

第2　利用者からのご意見などについて

1.　利用者アンケート調査結果

アンケート期間：令和4年7月15日（金）～　29日（金）　15日間

対象：本館・地域館・分館等（自動車文庫を除く）

回答数：1,151件（回収率46.9%）

（1）年齢・住所

年齢	割合	回答数	年齢区分	割合	回答数
12～18歳	21.7%	238	学生	21.7%	238
19～29歳	9.4%	103	働き世代	44.9%	492
30歳代	9.1%	100			
40歳代	15.6%	171			
50歳代	10.9%	118			
60歳代	13.6%	149	高齢者	33.3%	365
70歳代	15.3%	168			
80歳～	4.4%	48			

住所	割合	回答数
富山市内	90.3%	978
富山県内	8.4%	91
富山県外	1.3%	14
未回答		12

（２）利用頻度

利用頻度	年代			
	学生	働き世代	高齢者	全体
週２回以上	20.5%	10.7%	18.9%	14.8%
月2.・3回程度	34.6%	51.4%	60.8%	53.9%
月１回程度	16.7%	16.9%	14.8%	16.0%
２か月～半年に一回程度	19.2%	10.3%	4.3%	8.6%
ほとんど利用しない	9.0%	10.7%	1.2%	6.7%

（３）利用時間帯

利用時間帯	年代			
	学生	働き世代	高齢者	全体
9：00～12：00	17.6%	33.4%	51.7%	35.7%
12：00～15：00	10.8%	25.7%	25.6%	22.2%
15：00～17：00	20.3%	15.2%	13.3%	15.8%
17：00～18：00	5.9%	5.2%	0.6%	3.9%
18：00～閉館まで	8.6%	4.5%	0.6%	4.2%
決まっていない	36.8%	16.0%	8.2%	18.2%

（４）利用目的

○利用目的×年代

利用目的	年代			
	学生	働き世代	高齢者	全体
本や雑誌を借りる	23.2%	50.8%	55.5%	45.8%
館内で本や雑誌、新聞を読む	9.1%	11.7%	15.7%	12.4%
図書館の資料で調べ物をする	7.1%	6.3%	6.6%	6.6%
職員に本や調べ物の相談をする	0.7%	1.2%	4.4%	2.1%
インターネット端末を使う	1.2%	1.7%	1.4%	1.5%
データベースサービスを使う	0.2%	0.0%	0.4%	0.2%
学習をする	48.5%	16.5%	7.8%	21.2%
仕事をする	0.7%	3.3%	0.5%	1.8%
行事に参加する	0.5%	0.9%	1.1%	0.9%
ゆっくりと過ごす	6.6%	5.7%	4.3%	5.4%
観光・旅行	0.5%	0.5%	0.7%	0.6%
同じ建物の施設を利用する	0.5%	1.1%	0.7%	0.8%
その他	1.2%	0.3%	0.9%	0.7%

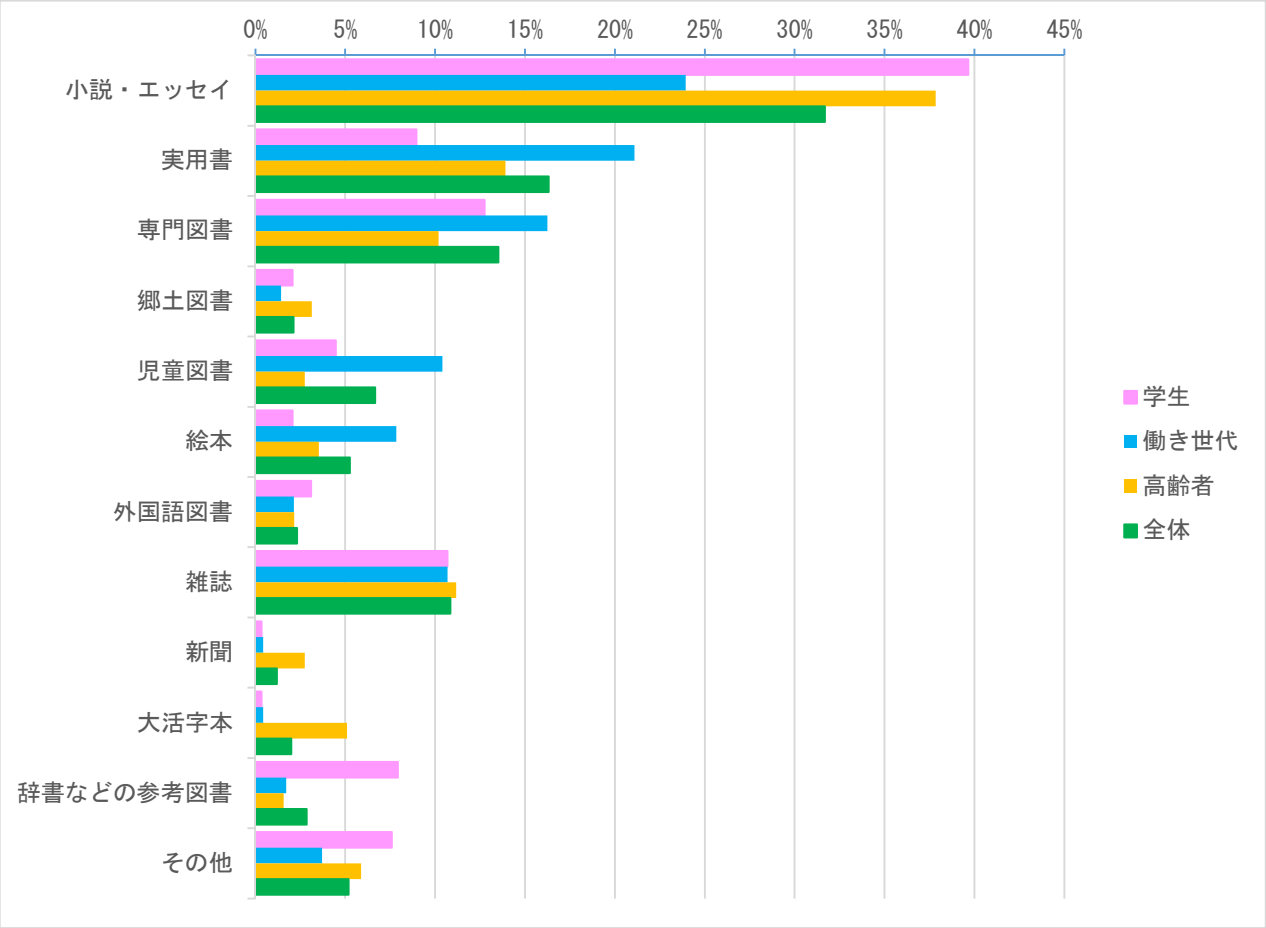
○利用目的×利用頻度

利用目的	利用頻度				
	週１回以上	２週間に１回程度	月１回程度	２か月～半年に１回程度	ほとんど利用しない
本や雑誌を借りる	34.1%	58.9%	48.9%	43.1%	35.1%
館内で本や雑誌、新聞を読む	17.5%	8.3%	11.5%	9.8%	9.6%
図書館の資料で調べ物をする	7.0%	5.8%	6.3%	10.6%	5.3%
職員に本や調べ物の相談	2.1%	2.5%	1.1%	3.3%	2.1%
インターネット端末を使う	2.9%	0.7%	1.1%	0.0%	1.1%
データベースサービスを使う	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%
学習をする	26.5%	14.7%	20.7%	21.1%	29.8%
仕事をする	2.2%	1.8%	0.7%	1.6%	2.1%
行事に参加する	1.0%	0.8%	0.4%	0.8%	2.1%
ゆっくりと過ごす	4.5%	5.6%	6.7%	6.5%	6.4%
観光・旅行	0.6%	0.3%	0.4%	0.8%	1.1%
同じ建物の施設を利用する	0.8%	0.3%	1.1%	1.6%	1.1%
その他	0.5%	0.3%	1.1%	0.8%	3.1%

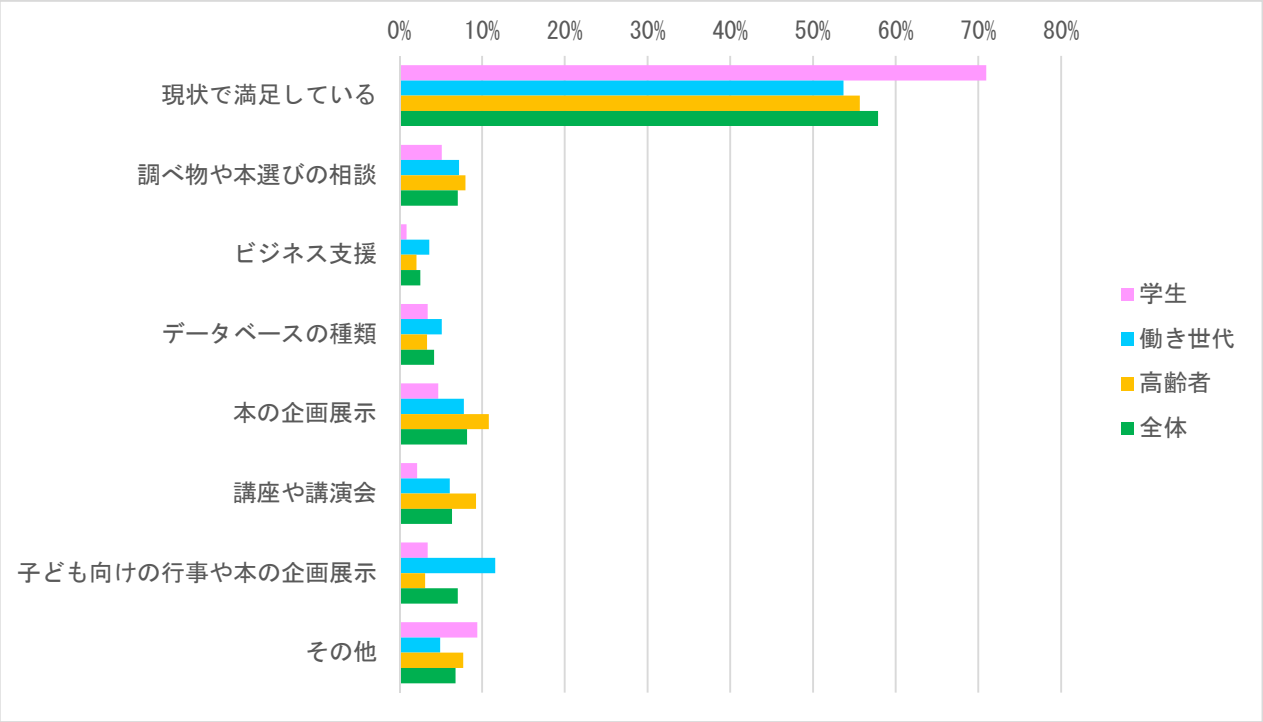
○利用目的×時間帯

利用目的	利用時間帯					
	9：00～12：00	12：00～15：00	15：00～17：00	17：00～18：00	18：00～閉館時間まで	決まっていない
本や雑誌を借りる	51.0%	56.4%	46.2%	30.2%	29.5%	31.3%
館内で本や雑誌、新聞を読む	14.3%	10.9%	10.2%	11.1%	14.1%	11.2%
図書館の資料で調べ物をする	5.3%	6.1%	8.0%	7.9%	7.7%	7.3%
職員に本や調べ物の相談	2.4%	3.9%	1.2%	0.0%	1.3%	0.3%
インターネット端末を使う	1.7%	0.6%	1.2%	3.2%	1.3%	1.4%
データベースサービスを使う	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
学習をする	16.2%	14.5%	24.1%	36.4%	34.5%	36.5%
仕事をする	1.3%	1.3%	0.4%	3.2%	0.0%	3.1%
行事に参加する	1.1%	0.6%	0.4%	1.6%	0.0%	1.0%
ゆっくりと過ごす	5.3%	4.2%	6.3%	4.8%	9.0%	5.9%
観光・旅行	0.6%	0.3%	0.4%	0.0%	0.0%	0.3%
同じ建物の施設を利用	0.2%	0.6%	0.8%	1.6%	1.3%	1.0%
その他	0.4%	0.6%	0.8%	0.0%	1.3%	0.7%

（５）充実してほしい資料



（６）充実してほしいサービス



（７）満足度

全体

	割合	回答数
満足	64.3%	697
やや満足	33.6%	365
やや不満	1.9%	21
不満	0.2%	2
未回答		10

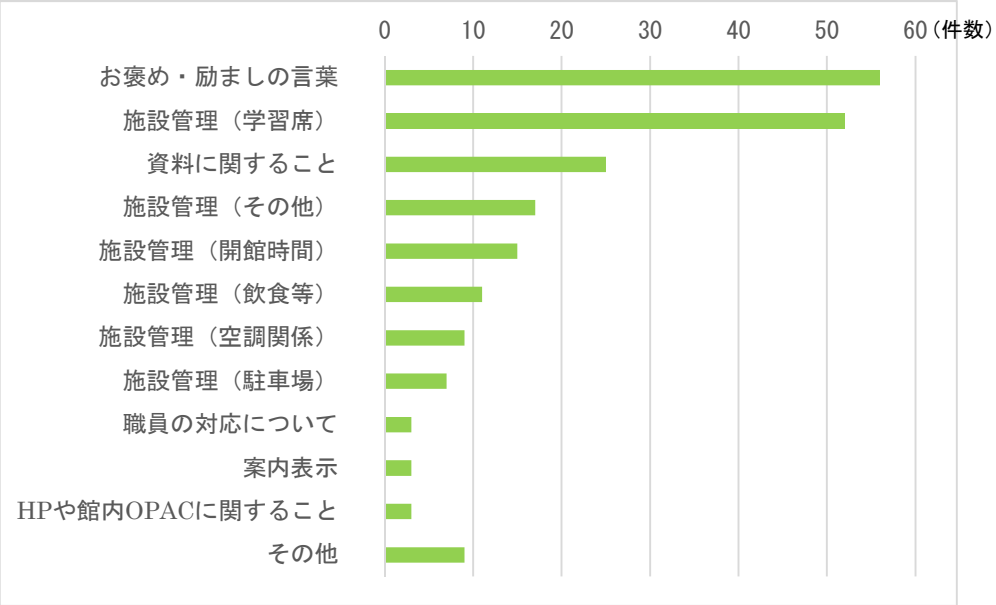
本館

	割合	回答数
満足	65.8%	336
やや満足	31.6%	161
やや不満	2.6%	13
不満	0.0%	0
未回答		7

地域館・分館・ぶらり

	割合	回答数
満足	62.7%	361
やや満足	35.5%	204
やや不満	1.4%	8
不満	0.4%	2
未回答		3

（８）意見・要望



２．　利用者からの主なご意見とその対応

	ご意見		対応
1	本館	5階の雑誌書架の造りを改善してほしい。バックナンバーが取り出しづらい。	最下段が取り出しづらいため、なるべく下段を使用しないよう、雑誌の配置を工夫した。
2	本館	閲覧室に消しゴムかすを捨てるゴミ箱があるといい。	5階閲覧室、多目的ルーム、3階セミナールームに、卓上用の掃除用具とゴミ箱を設置した。
3	本館	駐輪場がいつもいっぱいで、停めづらい。	放置自転車を撤去した。
4	本館	3階に大きな文字の本を見つけて楽しんでいる。エッセイ等、ほかにも大きな文字の本があればうれしい。年齢とともに文字が見えづらいので。	3階バリアフリーブックコーナーに、4階に一般向け大活字図書があることを掲示した。
5	こども	こども図書館の雑誌も他の図書館の雑誌と同じように借りられるようにしてほしい。	こども図書館の雑誌は、保護者の館内滞在を目的に閲覧専用として配置していた。開館から10年が経過し、現在の利用状況等を踏まえ、貸出に対応することとした。
6	全館	マスクの着用を声掛けなどで周知してほしい。	マスク着用については、掲示物で協力を呼びかけるが、マスクをすることができない方もいることから声掛けはしないこととしている。

第3　図書館の運営評価について（令和3年度）

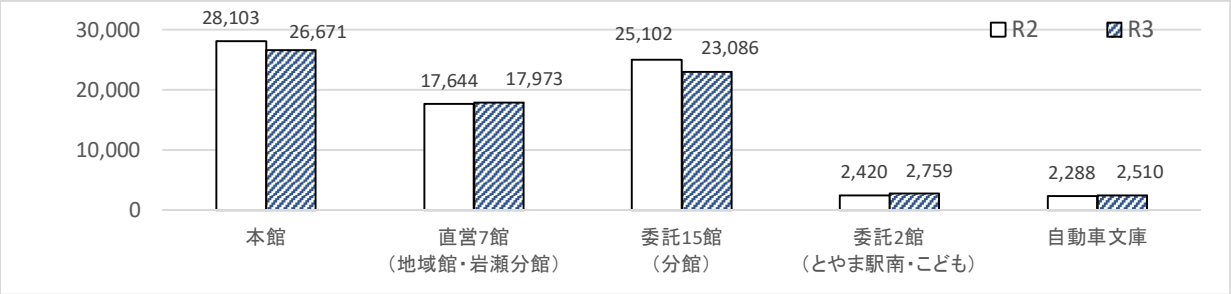
図書館法第7条の3の規定に基づき、富山市立図書館の各種統計数値（利用者満足度はアンケート調査（R3.7月実施））等を用いて、図書館の運営の状況について評価を行い、改善点など、今後の方向性について検討を行った。

《評価について》　評価A：前年度より増加した、または充実を図った。（対前年比5%以上の増）
評価B：前年度と同程度、または、例年と同程度である。（対前年比5%未満の増減）
評価C：前年度未満、または、改善を要するレベルである。（対前年比5%以上の減）

1. 活動実施状況について

(1)資料購入費（単位：千円）

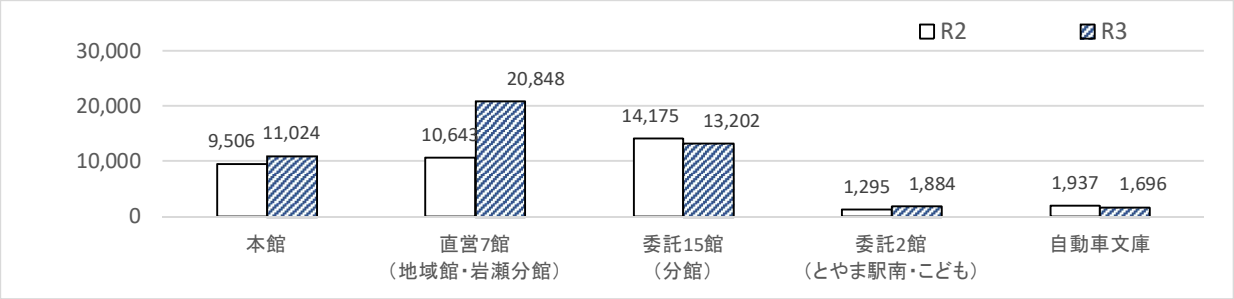
	本館	直営7館（地域館・岩瀬分館）	委託15館（分館）	委託2館（とやま駅南・こども）	自動車文庫	総合（計）
R2	28,103	17,644	25,102	2,420	2,288	75,557
R3	26,671	17,973	23,086	2,759	2,510	72,999
対前年比	94.9%	101.9%	92.0%	114.0%	109.7%	96.6%
評価	C	B	C	A	A	B



＜評価の説明＞	＜今後の方向性＞
令和3年度の資料購入費は、令和2年度と比べ総合計では2,558千円の減額となっているが、令和2年度は奥田北分館の移転開館のための新館用資料購入費の予算が増額となったことによるものである。	令和4年度の資料購入費は、例年の73,000千円に加え、令和5年4月開館予定の大沢野図書館・大山図書館の新館用資料購入費として4,800千円の増額となっている。 今後も予算の確保に努めるとともに、地域館・分館資料の更新を積極的に行い、図書館全体として魅力ある蔵書構成を図る。

（2）除籍冊数 （単位：冊）

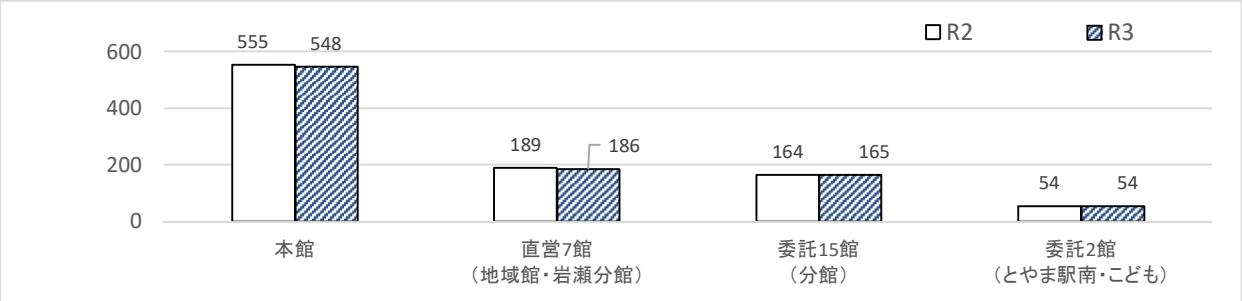
	本館	直営7館（地域館・岩瀬分館）	委託15館（分館）	委託2館（とやま駅南・こども）	自動車文庫	総合（計）
R2	9,506	10,643	14,175	1,295	1,937	37,556
R3	11,024	20,848	13,202	1,884	1,696	48,654
対前年比	116.0%	195.9%	93.1%	145.5%	87.6%	129.6%
評価	A	A	C	A	C	A



＜評価の説明＞	＜今後の方向性＞
書庫の収容能力を超えることのないよう、損傷した資料や利用の見込がない資料の除籍を進めている。大沢野図書館・大山図書館は、新館の施設規模が縮小することから、本館と重複している利用のない資料を優先に除籍している。	計画的に除架・除籍を進め、新しい資料が揃う魅力的な空間を保つ。 本館においては、適切な除籍を行い、収蔵スペースを確保する。大沢野図書館・大山図書館においては、新館への移転を考慮し、引き続き除籍を進める。

（3）雑誌数 （単位：誌）

	本館	直営7館（地域館・岩瀬分館）	委託15館（分館）	委託2館（とやま駅南・こども）	総合（計）
R2	555	189	164	54	962
R3	548	186	165	54	953
対前年比	98.7%	98.4%	100.6%	100.0%	99.1%
評価	B	B	B	B	B



＜評価の説明＞	＜今後の方向性＞
コロナ禍において、雑誌の休刊（16誌）が相次いでいる。また、雑誌購入費は、令和2年度より減額となり、タイトル数は9誌減少した。	限られた財源の中で、魅力ある雑誌構成となるよう様々なジャンルを取り揃える。また、企業に雑誌スポンサーへの協力をお願いしていきたい。

※雑誌数の数値は、各館で所蔵しているタイトル数を合計したもので重複資料がある。

(4)録音図書所蔵冊数 （単位：冊）

	本館
R2	3,439
R3	2,670
対前年比	77.6%
評価	C

＜評価の説明＞	＜今後の方向性＞
令和3年度は、カセットテープのうち、制作年が古くテープが劣化しているもの、また、長年利用のないものについて除籍を行ったため、所蔵数が減少した。 録音図書は、ボランティア団体に制作を依頼しており、70点新規タイトルを追加することができた。	視覚障害者に役立つ情報提供のため、今後も、ボランティア団体の協力を得て、録音図書の制作を行う。 録音図書は、カセットテープの入手が難しくなっていることなどから、令和6年3月をもってカセットテープ版の制作を終了する。カセットテープの利用者にはデジタル録音図書(DAISY)への切り替えを促したり、他館からテープを借り受ける等、代替案を検討する。

(5)講座等開催回数(一般) （単位：回）

	本館
R2	32
R3	44
対前年比	137.5%
評価	A

＜評価の説明＞	＜今後の方向性＞
新型コロナウイルスの影響により、一部の講演会・セミナーをオンラインで開催した。 司書が講師となって行う「図書館使い方講座」や、国文学研究資料館、放送大学、県よろず支援拠点、富山大学等と連携したセミナーをコロナ以前とほぼ同等の回数を実施した。	感染症対策をしつつ、今後も本市の情報の拠点として、暮らしや学び、ビジネスなど市民の活動に役立つ情報を提供する講座を開催する。 特に郷土に関するセミナーは、YouTubeで公開を予定し、情報提供に努める。

(6)その他行事等開催回数(一般)(単位：回)

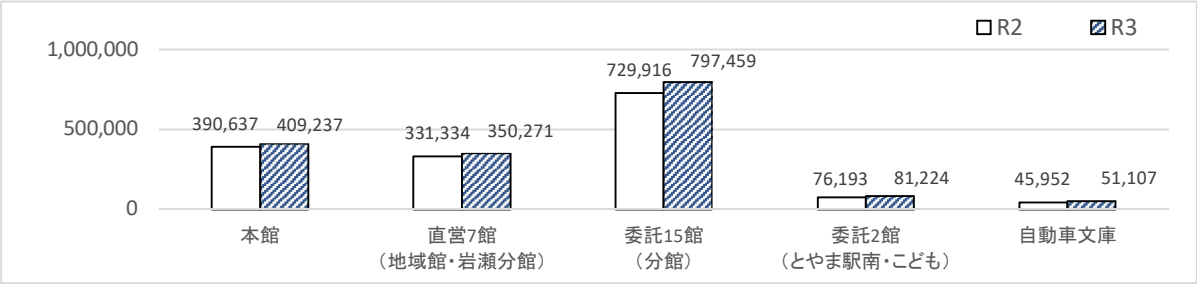
	本館
R2	12
R3	9
対前年比	75.0%
評価	C

＜評価の説明＞	＜今後の方向性＞
絵本原画展、リアル謎解きゲーム、製本ワークショップ、ブックコート体験会など、図書館や本に関連した行事などを開催し、図書館PRに努めたものの、令和2年度と比較し行事回数は減少した。	感染症対策をしつつ、市民の関心やニーズを考慮した企画を実施し、図書館への理解促進と来館のきっかけづくりに努めるとともに、SNSを活用し積極的なPRを行う。

2. 活動実施による成果について

（1）貸出冊数 （単位：冊）

	本館	直営7館（地域館・岩瀬分館）	委託15館（分館）	委託2館（とやま駅南・こども）	自動車文庫	総合（計）
R2	390,637	331,334	729,916	76,193	45,952	1,574,032
R3	409,237	350,271	797,459	81,224	51,107	1,689,298
対前年比	104.8%	105.7%	109.3%	106.6%	111.2%	107.3%
評価	B	A	A	A	A	A



＜評価の説明＞	＜今後の方向性＞
令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策として、前年に引き続き休館・開館時間の短縮があったが、令和2年度に比べると貸出冊数は増加した。また、貸出冊数は1日平均が5,119冊であり、コロナ前である令和元年度の5,023冊と比較すると増加している。（自動車文庫を除く）。 自動車文庫は、休館中に一般駐車地の巡回を中止したほか、学校・病院・老人施設からの中止の要請があり巡回数が減少した。	貸出冊数は増加しており、これまでと同様に限られた予算を有効に活用し、多様なニーズに応えられる資料を提供できるよう選書を行う。また、イベントに連動した展示やポップでの図書のPRを行うなど、新たな発見がある環境をつくり、貸出増につなげる。

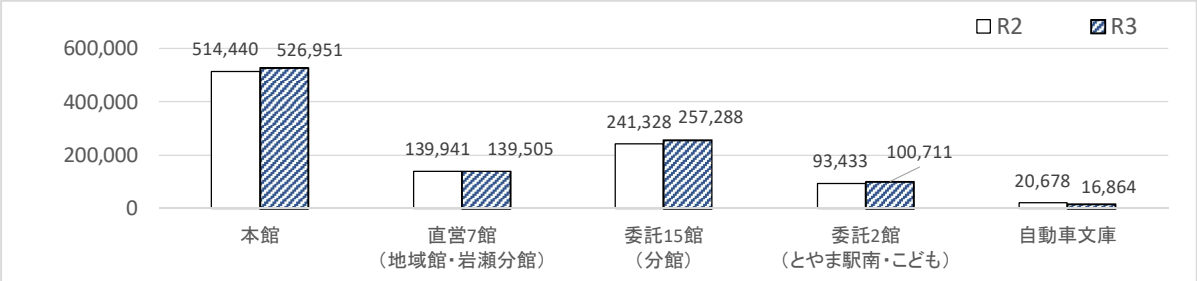
（2）有効登録率 （単位：%）（過去5年に利用のあった実人数/市人口）

	全館（計）
R2	23.1
R3	22.8
対前年比	98.7%
評価	B

＜評価の説明＞	＜今後の方向性＞
ほぼ令和2年度と同様の結果であり、新規登録者数は昨年度とほぼ変わらない。	新たなイベントやセミナーの開催で、これまで図書館を利用していない方へのPRをしていきたい。

（3）入館者数（単位：人）

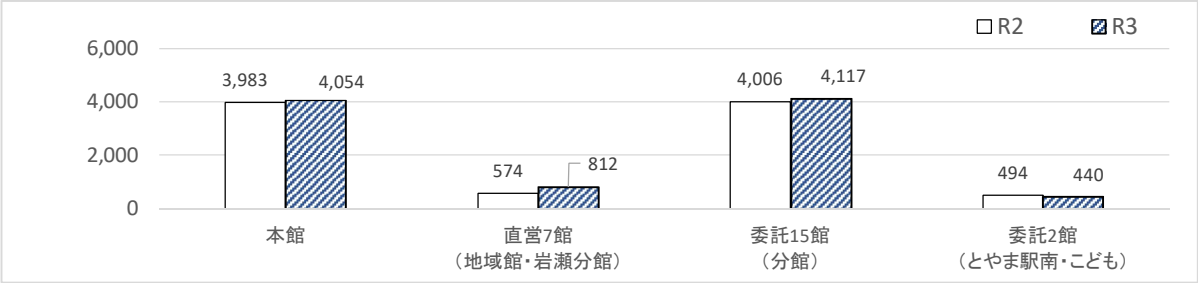
	本館	直営7館（地域館・岩瀬分館）	委託15館（分館）	委託2館（とやま駅南・こども）	自動車文庫	総合（計）
R2	514,440	139,941	241,328	93,433	20,678	1,009,820
R3	526,951	139,505	257,288	100,711	16,864	1,041,319
対前年比	102.4%	99.7%	106.6%	107.8%	81.6%	103.1%
評価	B	B	A	A	C	B



＜評価の説明＞	＜今後の方向性＞
令和2年度より微増した。	魅力的なイベントを企画し、これまで来館の機会がなかった市民へ積極的にSNS等でアピールを行いたい。自動車文庫では新規駐車地の開拓に取り組みたい。

（4）レファレンス件数（単位：件）

	本館	直営7館（地域館・岩瀬分館）	委託15館（分館）	委託2館（とやま駅南・こども）	総合（計）
R2	3,983	574	4,006	494	9,057
R3	4,054	812	4,117	440	9,423
対前年比	101.8%	141.5%	102.8%	89.1%	104.0%
評価	B	A	B	C	B



＜評価の説明＞	＜今後の方向性＞
令和2年度より微増した。	地域館・分館に課題解決のための参考図書や専門図書のほか、郷土資料などが充実するよう選書に努める。また、司書の経験値をあげるためにも研修を継続していく。

（5）視覚障害者郵送貸出件数 （延べ件数）（単位：件）

	本館
R2	105
R3	125
対前年比	119.0%
評価	A

＜評価の説明＞	＜今後の方向性＞
貸出件数は微増し、新規登録者は1名であった。（令和4年度は現在のところ2名）。 令和3年度にホームページ内に新設した障害者サービス案内を見て問い合わせがあった。	引き続き、図書館のホームページやSNSでの情報発信、関連行事の開催、関連施設への情報提供を行う等、障害者サービスのPRを行い、認知度向上を図る。また、読書に障害がある方で、身体障害者手帳を持たない方にも利用対象者を広げるため、要綱の改訂作業中である。

（6）講座等参加人数（一般） （単位：人）

	本館
R2	902
R3	693
対前年比	76.8%
評価	C

＜評価の説明＞	＜今後の方向性＞
新型コロナウイルス感染症対策のため、各行事の人数を制限して開催したことにより、参加人数が大幅に減少したが、司書が講師となって行う「図書館使い方講座」など、小規模なセミナーを多数開催した。	【再掲】 感染症対策をしつつ、今後も本市の情報の拠点として、暮らしや学び、ビジネスなど市民の活動に役立つ情報を提供する講座を開催する。 特に郷土に関するセミナーは、YouTubeで公開を予定し、情報提供に努める。

（7）その他行事等参加人数（一般） （単位：人）

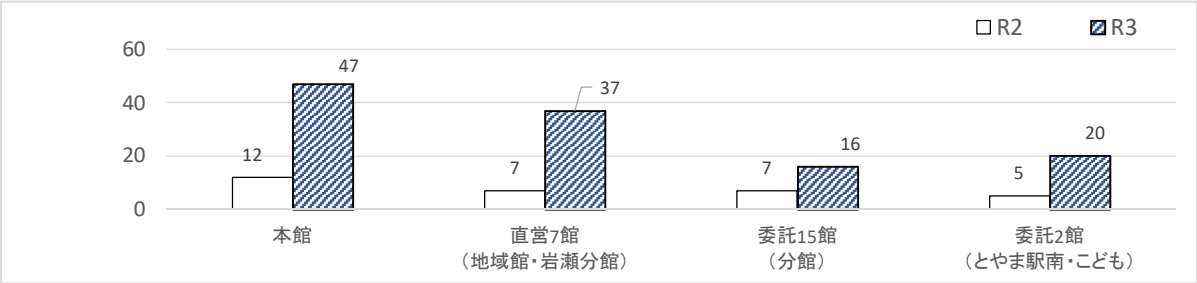
	本館
R2	8,429
R3	7,912
対前年比	93.9%
評価	C

＜評価の説明＞	＜今後の方向性＞
絵本原画展及びリアル謎解きゲーム等に多数の参加者があった。一方、感染症対策のため人数を制限して開催した行事も多数あり、参加人数は減少した。	【再掲】感染症対策をしつつ、市民の関心やニーズを考慮した企画を実施し、図書館への理解促進と来館のきっかけづくりに努めるとともに、SNSを活用し積極的なPRを行う。

3. 活動実施状況（児童サービス）について

（1）集会行事開催回数（単位：回）

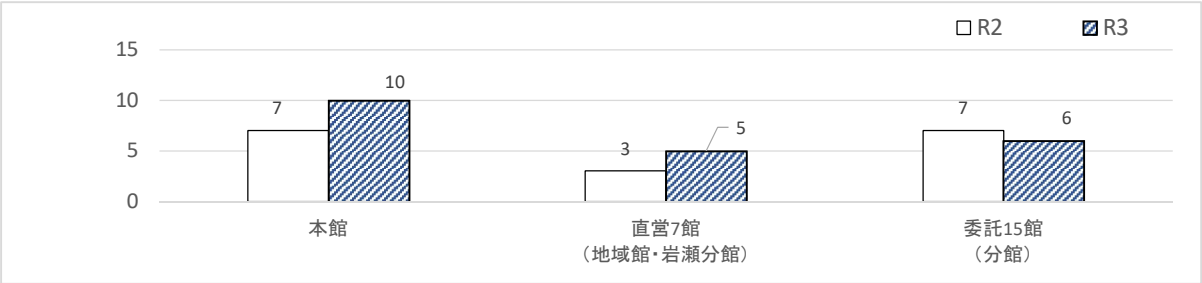
	本館	直営7館（地域館・岩瀬分館）	委託15館（分館）	委託2館（とやま駅南・こども）	総合（計）
R2	12	7	7	5	31
R3	47	37	16	20	120
対前年比	391.7%	528.6%	228.6%	400.0%	387.1%
評価	A	A	A	A	A



＜評価の説明＞	＜今後の方向性＞
新型コロナウイルス感染症対策のため、ステージ2以上で、児童を対象とした子ども会はすべて中止した。 令和2年度より、行事回数は大幅に増加したものの、コロナ以前と比較すると低い水準である。（令和元年度：1,097回実施）	感染症対策をしつつ、各地域で活動するボランティア団体と連携し、全館で絵本の読み聞かせや読書の楽しさを伝える子ども会を継続して実施する。特にこども図書館では未就学児とその保護者に特化した行事を行い、本館においては、乳幼児から中高生まで子どもの発達段階に応じた行事を実施していく。

（2）学級招待等開催数　（単位：学級）

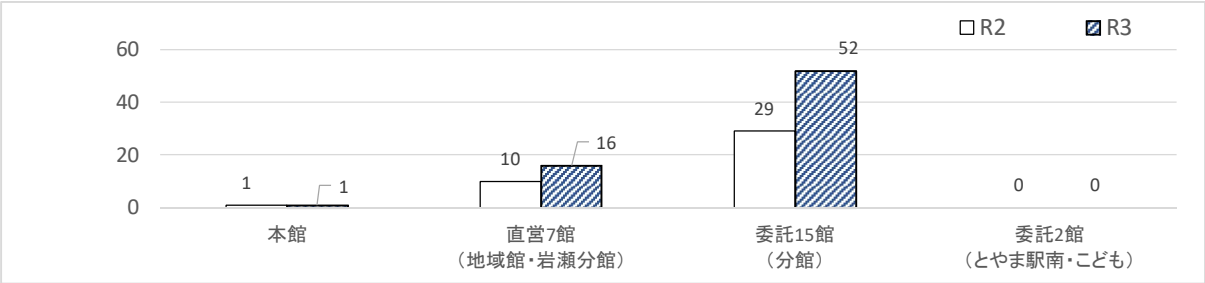
	本館	直営7館（地域館・岩瀬分館）	委託15館（分館）	総合（計）
R2	7	3	7	17
R3	10	5	6	21
対前年比	142.9%	166.7%	85.7%	123.5%
評価	A	A	C	A



＜評価の説明＞	＜今後の方向性＞
各館周辺の小学2年生を招待し、図書館利用方法を指導する学級招待の実施回数は、令和2年度からは微増したが、コロナ前と比較すると低い水準である。（令和元年度：77回実施）	学校側には社会見学活動の一環として協力を求め、感染症対策をしつつ今後も継続して学級招待を推進し、児童の読書普及と図書館利用の活性化を図る。

（3）園招待開催回数 （単位：回）

	本館	直営7館（地域館・岩瀬分館）	委託15館（分館）	委託2館（とやま駅南・こども）	総合（計）
R2	1	10	29	0	40
R3	1	16	52	0	69
対前年比	100.0%	160.0%	179.3%	0.0%	172.5%
評価	B	A	A	B	A

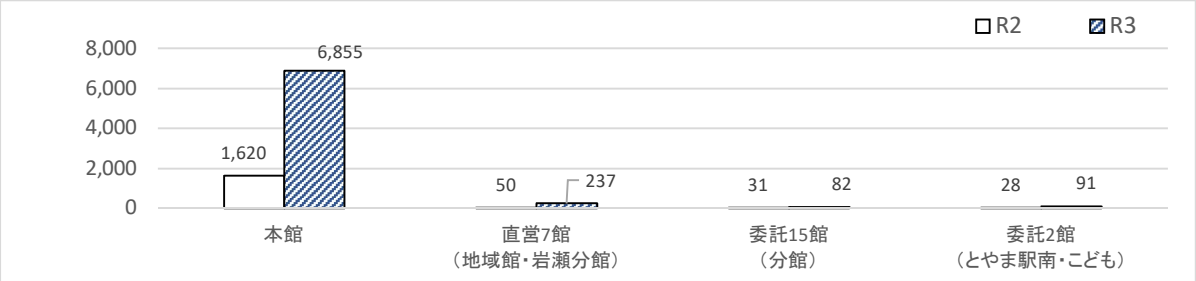


＜評価の説明＞	＜今後の方向性＞
各館近辺の幼稚園・保育所の園児に読み聞かせや本の貸出を行う園招待の実施回数は、令和2年度より増加したが、コロナ以前と比較すると低い水準である。（令和元年度：128回実施）	感染症対策をしつつ、乳幼児等の心豊かな成長に資するよう、幼稚園・保育所の協力を得ながら、全館で園招待を推進していく。

4. 活動実施による成果（児童サービス）について

（1）集会行事参加人数（単位：人）

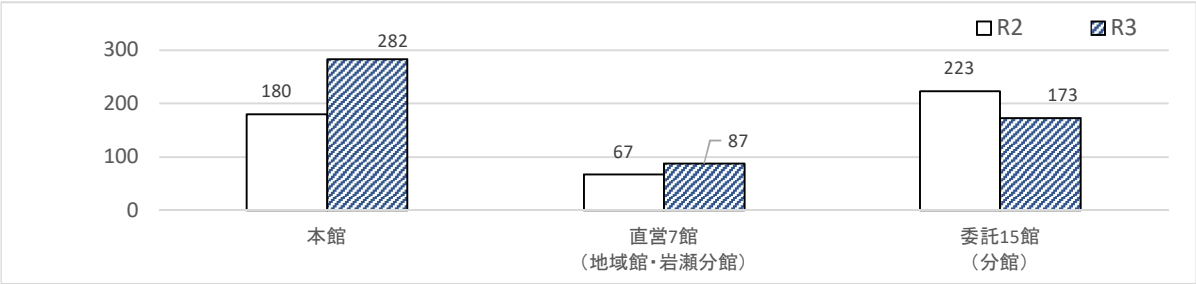
	本館	直営7館（地域館・岩瀬分館）	委託15館（分館）	委託2館（とやま駅南・こども）	総合（計）
R2	1,620	50	31	28	1,729
R3	6,855	237	82	91	7,265
対前年比	423.1%	474.0%	264.5%	325.0%	420.2%
評価	A	A	A	A	A



＜評価の説明＞	＜今後の方向性＞
新型コロナウイルス感染症対策のため、ステージ2以上で、児童を対象とした子ども会はすべて中止した。 一方、児童向き謎解きゲーム「図書館蔵をさがせ」や、参加型図書展示「五十日間世界一周」等、密にならない行事を企画し、令和2年度から大幅に参加人数は増加したものの、コロナ以前の水準には達していない。（令和元年度：11,800人）	【再掲】感染症対策をしつつ、各地域で活動するボランティア団体と連携し、全館で絵本の読み聞かせや読書の楽しさを伝える子ども会を継続して実施する。特にこども図書館では未就学児とその保護者に特化した行事を行い、本館においては、乳幼児から中高生まで子どもの発達段階に応じた行事を実施していく。

（2）学級招待参加人数（単位：人）

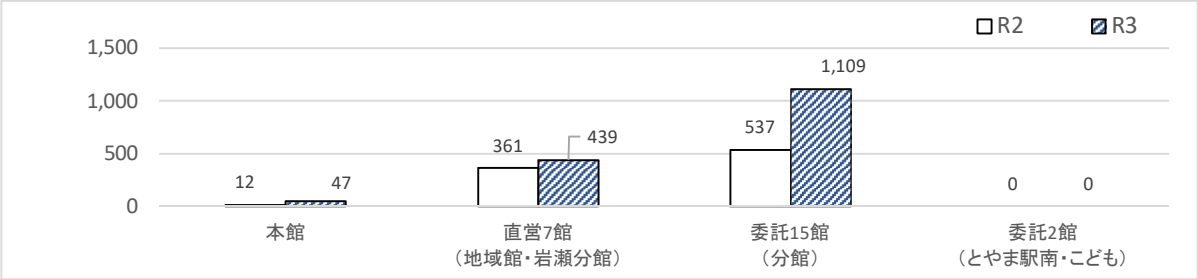
	本館	直営7館（地域館・岩瀬分館）	委託15館（分館）	総合（計）
R2	180	67	223	470
R3	282	87	173	542
対前年比	156.7%	129.9%	77.6%	115.3%
評価	A	A	C	A



＜評価の説明＞	＜今後の方向性＞
【再掲】各館周辺の小学2年生を招待し、図書館利用方法を指導する学級招待の実施回数は、令和2年度からは微増したが、コロナ前と比較すると低い水準である。（令和元年度：2,145人）	【再掲】学校側には社会見学活動の一環として協力を求め、感染症対策をしつつ今後も継続して学級招待を推進し、児童の読書普及と図書館利用の活性化を図る。

（3）園招待参加人数 （単位：人）

	本館	直営7館（地域館・岩瀬分館）	委託15館（分館）	委託2館（とやま駅南・こども）	総合（計）
R2	12	361	537	0	910
R3	47	439	1,109	0	1,595
対前年比	391.7%	121.6%	206.5%	0.0%	175.3%
評価	A	A	A	B	A



＜評価の説明＞	＜今後の方向性＞
【再掲】各館近辺の幼稚園・保育所の園児に読み聞かせや本の貸出を行う園招待の実施回数は、令和2年度より増加したが、コロナ以前と比較すると低い水準である。（令和元年度：3,109人）	【再掲】感染症対策をしつつ、乳幼児等の心豊かな成長に資するよう、幼稚園・保育所の協力を得ながら、全館で園招待を推進していく。

報告事項

１．令和３年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰について

令和３年１２月７日、当館の録音図書を製作するボランティア団体「声のライブラリー友の会」（代表：土肥祐子氏）が、５０年に渡る視覚障害者への読書支援活動の功績が認められ文部科学大臣表彰を受けた。

２．読書バリアフリー環境整備について

（１）趣旨

厚生労働省「令和４年度地域における読書バリアフリー体制強化事業」の補助を受け、視覚障害者や視力の衰えた高齢者等の読書環境の改善に取り組むもの。

（２）内容

図書館本館内に拡大機能付き音声読書機や車椅子の方のための電動昇降脚机を設置する。また、点字プリンタを更新し、録音図書目録の点字版の発行を継続する。

３．国会図書館 視覚障害者等用データ送信サービスへの参加について

国立国会図書館では、公共図書館等で製作された視覚障害者等用資料のデータを収集しており、当館所蔵の DAISY データ（録音図書）の提供を開始した。このデータは、国会図書館が運営する視覚障害者等用データ送信サービスを通じて、インターネット経由で全国の視覚障害者等の個人の方や図書館へ提供される。

４．TOYAMA キラリ来館者数５００万人達成について

令和４年８月１９日、TOYAMA キラリへの来館者数が５００万人を達成したもの。記念式典を開催し、５００万人目の来館者の方へ、認定証と記念品を贈呈した。